

2026 年 度

日 本 史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マーク用解答用紙(1)と記述用解答用紙(2)とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。
3. 解答用紙(1)は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. 解答用紙(1)にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。

マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)

5. 解答用紙(1)に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、解答用紙(1)には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときには解答用紙(1)の〔**受験番号記入上の注意**〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
解答用紙(2)には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の1～11ページに記載されています。
問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

- 1 次の年表に関して、以下の問に答えなさい。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

1180	<u>源頼朝が挙兵する</u>	
1192	^a 源頼朝が征夷大將軍に就任する	
1203	源頼家が將軍を廃され、	b—1 が3代將軍に就任する
1213	b—2	が討伐される
1221	<u>承久の乱が起こる</u>	
1224	^c 北条泰時が執權に就任する	
1232	<u>御成敗式目が制定される</u>	
1246	^d 北条時頼が執權に就任する	
	(e)	
1274	<u>元軍が九州に来襲する</u>	
1285	^f 霜月騒動が起こる	
1297	<u>永仁の徳政令が発令される</u>	
1333	^g 鎌倉幕府が滅亡する	
1334	建武の新政が始まる	
1336	<u>南北朝の動乱が始まる</u>	
	^h	

問 a. 下線部 a と同年の出来事として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 侍所が設置される。
- ② 公文所・問注所が設置される。
- ③ 平清盛が後白河法皇を幽閉する。
- ④ 平氏が西国に都落ちする。

問 b. 空欄 b－1・b－2 に当てはまる語句の組合せ (b－1・b－2 の順) として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 源義朝・比企能員
- ② 源義朝・和田義盛
- ③ 源実朝・比企能員
- ④ 源実朝・和田義盛

問 c. 下線部 c に関連して、承久の乱に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 院政を行っていた後鳥羽上皇は西面の武士において軍事力の増強をはかり、北条義時追討の兵をあげた。
- ② 幕府は乱後に 3 上皇を配流するとともに、後嵯峨天皇を廃して仲恭天皇を即位させた。
- ③ 幕府は六波羅探題において北条泰時と北条時房を任命し、朝廷の監視などを担わせた。
- ④ 幕府は上皇方についた貴族や武士の所領を没収し、新たに地頭を任命した。

問 d. 下線部 d に関連して、御成敗式目に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 喧嘩両成敗などの武士社会の慣習に基づき作成された。
- ② 守護および地頭の任務および権限を明文化した。
- ③ 公平な裁判を重視し、幕府の勢力範囲で用いられた。
- ④ 制定後に追加された個別の法令を式目追加とよんだ。

問 e. (e)の時期に該当する出来事として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 引付が設置される
- ② 宝治合戦が起こる
- ③ 藤原頼経が将軍に就任する
- ④ 建長寺が創建される

問 f. 下線部 f に関連して、元寇に関して述べたア・イの説明と、それに該当するⅠ～Ⅳの語句との組合せとして正しいものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 幕府は元軍の再度の襲来に備えて博多湾沿いに防御施設を構築させた。

イ 幕府は元軍の襲来後の13世紀末、九州地方の政務・裁判や御家人の指揮に当たらせる統治機構を設置した。

Ⅰ 石築地 Ⅱ 水城 Ⅲ 九州探題 Ⅳ 鎮西探題

- ① ア — Ⅰ, イ — Ⅲ ② ア — Ⅰ, イ — Ⅳ
- ③ ア — Ⅱ, イ — Ⅲ ④ ア — Ⅱ, イ — Ⅳ

問 g. 下線部 g に関連して、永仁の徳政令に関する次の史料のア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

一 質券売買地の事 永仁五年三月六日

右、地頭御家人買得の地に於いては、本条を守り、廿箇年を過ぐるは、本主取り返すに及ばず。非御家人並びに凡下の輩買得の地に至りては、年紀の遠近を謂はず、本主これを取り返すべし。

(『東寺百合文書』)

ア 史料の永仁の徳政令は、元寇後、窮乏する御家人や非御家人を対象に、その救済をはかるために出された。

イ 史料の永仁の徳政令は、それまでに質入れ・売却した御家人所領すべてを無期限かつ無償で取り戻させるものであった。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 h. 下線部 h に関連して、南北朝の動乱期における動向Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 足利尊氏が征夷大將軍に就任する。

Ⅱ 花の御所が造営される。

Ⅲ 観応の半済令が発令される。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ | ② Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ |
| ③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ | ④ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ |

2 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

「将軍のお膝元」である江戸の人口は、18世紀前半には武家^aや寺社・町方など計100万人前後に達したと推定され、江戸は日本最大の消費都市となった。その消費物資の多くは、当初、大坂などの上方から江戸にもたらされる「下り荷」(「下り物」)が中心であった。それらの物資を大量・安価に運ぶために海上交通が発達した。江戸・大坂間の航路には廻船が定期就航するとともに、出羽酒田を起点とし江戸^bに至る東廻り海運・西廻り海運のルートが整備され、江戸と大坂を中心とする全国規模の海上交通網が完成した。東日本では金貨^c、西日本では銀貨が取引や貨幣計算の中心となっており、両替商などが発達した。そして、金銀貸借^dに関する訴訟も増加し、幕府も対応を余儀なくされた。

江戸時代中期以降になると、大坂の商品集荷力が低下し、江戸への商品供給ルートが多様化した。諸藩でも大坂を経由させずに専売品を江戸その他の消費地に直送^eするようになった。一方、江戸向けの関東産加工品である地廻り物^fも大量に出まわるようになり、いわゆる江戸地廻り経済圏が形成された。この経済圏の形成などを背景に、江戸周辺の農村では階層分解がいつそう進展し、農村^gの荒廃や治安悪化をもたらした。このため幕府は1805年に h-1 をおいて治安維持をはかり、さらに1827年には h-2 を新たに結成させて農民統制を強化した。

問 a. 下線部 a に関連して、旗本・御家人に関するア～エの説明について、正しいものの組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 旗本と御家人は、将軍直属の家臣で、1 万石未満の武士である。

イ 旗本と御家人は、諸大名と同じく参勤交代が義務づけされた。

ウ 旗本と御家人は、若年寄による統制を受け、また目付に監察された。

エ 旗本は将軍に謁見を許されない者で、御家人は許される者である。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

問 b. 下線部 b に関連して、江戸・大坂間の航路やその航路に就航した廻船に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 江戸・大坂間の航路である南海路は、江戸の豪商である河村瑞賢によって17世紀後半に整備された。

イ 江戸・大坂間の航路には、幕府の許可を受けた朱印船や奉書船などの廻船が就航した。

- ① ア — 正, イ — 正 ② ア — 正, イ — 誤
③ ア — 誤, イ — 正 ④ ア — 誤, イ — 誤

問 c. 下線部 c に関連して、金貨などの三貨に関する動向Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 計数貨幣の銀貨が初めて铸造された。

Ⅱ 錢座が設けられ、寛永通宝が初めて铸造された。

Ⅲ 幕府の財政難を背景に、慶長金銀の改铸が初めて実施された。

- ① Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ② Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ④ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

問 d. 下線部 d に関連して、幕府の対応策として出された次の史料の法令に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

一 近年金銀出入段々多く成り、評定所寄合の節も此儀を専ら取扱い、公事訴訟ハ末に罷成、評定の本旨を失ひ候。借金銀・買懸り等の儀ハ、人々相對の上の事ニ候得ば、自今は三奉行所ニて済口の取扱い致す間敷候。併欲心を以て事を巧み候出入ハ、不屈を糺明いたし、御仕置申し付くべく候事。…

(『御触書寛保集成』)

ア この史料の法令は、金銭貸借関連の訴訟の続発に対処するため、寛政の改革で初めて発令された。

イ この史料の法令は、金銀貸借の争いを幕府に訴えさせず、当事者間で解決させるものであった。

① ア — 正, イ — 正

② ア — 正, イ — 誤

③ ア — 誤, イ — 正

④ ア — 誤, イ — 誤

問 e. 下線部 e に関連して、藩の専売制に関する次の文中の空欄 e-1・e-2 に当てはまる語句の組合せ(e-1・e-2の順)として適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔文〕

19世紀前半、薩摩藩では下級武士から登用された e-1 が改革に着手し、奄美三島特産の e-2 の専売を強化するなどして藩財政を立て直した。

① 調所広郷・黒砂糖

② 調所広郷・蠟

③ 村田清風・黒砂糖

④ 村田清風・蠟

問 f. 下線部 f に関連して、地廻り物として適切なものを、次のうちから一つ選
びなさい。

- ① 尾張の木綿 ② 会津の漆器
③ 越前の紙 ④ 野田の醤油

問 g. 下線部 g に関連して、生活に困窮する農民たちはしばしば百姓一揆を起こした。百姓一揆に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 17世紀半ばからは、村々の代表者が領主に直訴する代表越訴型一揆が起った。
- ② 17世紀末になると、広い地域にわたる大規模な惣百姓一揆が各地でみられるようになった。
- ③ 18世紀後半には、天明の大飢饉を背景に全国で数多くの百姓一揆が発生した。
- ④ 幕末には、現状を肯定する「ええじゃないか」の集団乱舞に対抗して世直し一揆が発生した。

問 h. 空欄 h-1・h-2 に当てはまる語句の組合せ (h-1・h-2 の順) として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 勘定吟味役・寄場組合
- ② 勘定吟味役・五人組
- ③ 関東取締出役・寄場組合
- ④ 関東取締出役・五人組

3

次の文章 A・B を読んで、以下の問に答えなさい。

- 【A】 18世紀末から19世紀なかば、欧米諸国は自国の権益を確保するべくアジア各地へと進出した。アジア諸国はそれに抵抗する戦いにやぶれたり^a、欧米諸国の植民地や経済圏に組み込まれるなどした。

東アジアでは清を中心とする国際関係が大きく変容した。日本は、1871年に b を結び、清と対等な関係で国交をもったが、両国はその後、朝鮮^cの位置づけなどをめぐって対立した。

1894年、日清双方が宣戦布告し、日清戦争が始まった。開戦当初の主戦場は朝鮮であったが、戦場はしだいに清の領内に及び、旅順や、北洋艦隊の根拠地である山東半島北岸の d を占領するなど、日本が優勢ななかで清が講和を申し出た。1895年に結ばれた下関条約^eによって台湾^fは日本の領土となった。

- 【B】 日本は明治期から欧米化の道を進み、中学校など中等教育^gの段階から英語や外国史を教え、欧米文化に親しむ人が増えた。工業や科学技術の発展^hと衛生思想の普及により、菓子や缶詰、調味料や飲料、医薬品などが大量生産できるようになった。そして大正期以降、大衆文化・消費文化ⁱが都市部を中心に広まった。大量生産・大量消費を主に支えたのは会社員や公務員などサラリーマンを中心とする新中間層^jである。都市の住民は休日には映画館やデパートに気晴らしに出かけるようになり、トンカツなどの洋食を食堂やレストランで食べたりした。東京や大阪では私鉄が郊外に建設した遊園地などの娯楽施設^kに出かけた人々も現れた。

問1 下線部 a に関連して、清はアヘン戦争でイギリスに敗れた結果、南京条約を結び上海などを開港し、香港を割譲した。この結果を受け、1842年に幕府が出した法令を何とよぶか答えなさい。

問2 空欄 b に当てはまる条約を何とよぶか答えなさい。

問3 下線部 c に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 西郷隆盛は朝鮮へ使節を派遣して開国を求め、拒否された場合は武力をもって国交を開くことを主張し、板垣退助らもこれを支持した。この主張を何とよぶか、漢字3文字で答えなさい。
- (2) 岩倉使節団に参加して帰国し、(1)の議論に対して内治の整備が優先であると主張した、のちに参議兼内務卿として殖産興業に尽力することとなる人物の姓名を答えなさい。

問4 空欄 d に当てはまる語句は何か答えなさい。

問5 下線部 e に関連して、1895年、下関条約で日本が領有すると規定された遼東半島について、清に返還するようにロシア・ドイツとともに勧告した国の国名を答えなさい。

問6 下線部 f に関連して、以下の空欄 f－1 に当てはまる語句、空欄 f－2 に当てはまる人物の姓名を答えなさい。

1895年、台湾を統治するための官庁として f－1 が設置された。1898年から8年余り、のちに初代南満洲鉄道株式会社総裁や東京市長を務める f－2 が、f－1 民政局長(のち長官)として植民地行政を担った。

問7 下線部 g に関連して、1886年に公布された学校制度に関する複数の法令の総称を何とよぶか答えなさい。

問8 下線部 h に関連して、ドイツに留学中、コッホに師事し、破傷風菌の血清療法を確立し、帰国後に伝染病研究所所長となった人物の姓名を答えなさい。

問9 下線部 i に関連して、「日本一面白くて為になる」雑誌を目指して1920年代に創刊された大衆娯楽雑誌は何か答えなさい。

問10 下線部 j に関連して、新中間層向けに建てられ、大正から昭和初期に流行した、応接間や台所など一部を洋風化した住宅を何とよぶか、漢字4文字で答えなさい。

問11 下線部 k に関連して、1907年に設立された箕面有馬電気軌道(1918年に阪神急行電鉄と改称)を創業した人物の姓名を答えなさい。